

日本の力を、世界のために。

Supporting Your Global Challenges



JBIC グリーンボンドレポート

2029年3月19日償還 JBICグリーンボンド

2025年4月

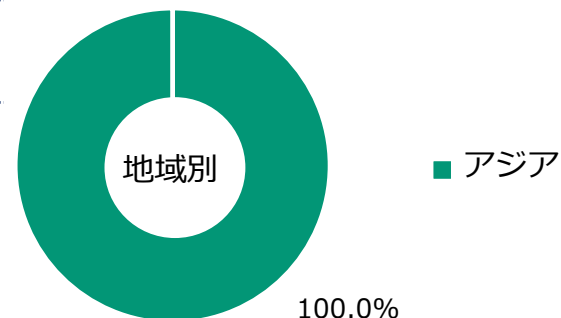
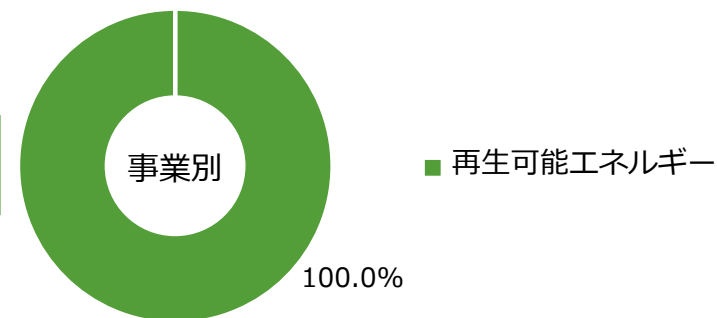
資金充当状況に係るレポーティング/ JBICグリーンボンド (100億円発行 2029年3月19日償還)



- 2021年10月、JBICは「株式会社国際協力銀行グリーンボンドフレームワーク（以下、フレームワーク）」*を策定しました。当該フレームワークでは、グリーンボンドの発行により調達された発行代わり金が、フレームワークのセクション4にて定められている適格事業に全額充当されるまで、年に1回、資金充当状況に係るレポーティング及びインパクトレポーティングを公表することを定めております。
- このレポートは、フレームワークに基づき2024年5月28日に発行されたJBICグリーンボンド（財投機関債）に関するものです。
- 2024年5月のJBICグリーンボンド発行を通じて調達した金額は100億円であり、適格事業へ全額充当されました（リファイナンス比率：100%）。

資金充当状況

適格事業 カテゴリー	サブカテゴリー	充当額** (単位:億円)
再生可能 エネルギー	太陽光・太陽熱	57 (56.8%)
	風力 (洋上・陸上)	43 (43.2%)
	地熱	0 (0%)
合計		100 (100.0%)



*詳細については、弊行ウェブサイトをご参照下さい (<https://www.jbic.go.jp/ja/ir/greenbond.html>)。

**2022年1月20日、2022年10月5日、2023年10月18日、2024年5月28日に発行されたJBICグリーンボンドとの間で、資金充当の重複はございません。

① 台湾Hai Long 洋上風力発電事業

カテゴリー 再生可能エネルギー – 風力 (洋上・陸上)

**JBICによる
ファイナンス**

プロジェクトファイナンス

- 約1,012億円
- 民間金融機関との協調融資

概要

- 台湾彰化県沖45～70kmの海域において、発電容量1,022MWの洋上風力発電所を建設・所有・運営する事業に必要な資金を融資するもの。
- 台湾が発表した「ネットゼロ排出ロードマップ」に基づき、Hai Long 2 Offshore Wind Power Co., Ltd.及びHai Long 3 Offshore Wind Power Co., Ltd.は、商業運転開始後20年から30年にわたり、国営の台湾電力及び民間の電力需要家へ電力を販売します。



② 「地球環境保全業務（GREEN）」の下での インド法人SJVN Limitedに対する融資

カテゴリー 再生可能エネルギー – 太陽光・太陽熱

**JBICによる
ファイナンス**

コーポレートファイナンス

- 約90億円
- 民間金融機関との協調融資

概要

- SJVN又は同子会社が実施するインドの太陽光発電事業に必要な資金をSJVNに対して融資するもの。
- SJVNは、インド政府の掲げるカーボンニュートラルの達成に向け、太陽光発電事業を始めとする再生可能エネルギー事業参画を進めています。



提供：SJVN Limited



インパクトレポーティング/ JBIC グリーンボンド (100億円発行 2029年3月19日償還)



再生可能エネルギー

■ 年間推定CO₂排出削減量=年間想定発電容量(事前) × CO₂排出係数*

適格事業 カテゴリー	サブカテゴリー	発電容量** (MW)	年間推定CO ₂ 排出削減量** (tCO ₂)
再生可能 エネルギー	太陽光・太陽熱	131	203,576.1
	風力 (洋上・陸上)	120	360,454.0
	地熱	0	0
合計		250	564,030.0

* 再生可能エネルギーからの排出量はゼロと仮定しています。CO₂排出係数は、IEAの「CO₂ Emissions Factors」より引用しています。

** 「発電容量」及び「年間推定CO₂排出削減量」の数値は、JBICの融資分のみを基に計算しています。JBICの融資部分の割合はプロジェクトごとに異なります。